

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月25日(木)

事務事業		検査事務		担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	8211
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等	地方自治法第234条の2、公共工事の品質確保の促進に関する法律第7条、深谷市検査事務規則、深谷市検査実施要領、深谷市工事等成績評定要領、深谷市建設工事中間検査実施要領ほか			
	小項目	4	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		市が締結した契約について、地方自治法第234条の2第1項の規定に基づく給付の完了を確認するために必要となる検査及び、公共工事の品質確保の促進に関する法律第7条に基づく評価を行う。また、当課所掌以外の契約に係る検査事務についても、適正化及び検査行為の徹底を図る。							
目的 ※何のために		目的物が契約図書に定められた品質等を確保していることを確認し、評価を契約者の適正な選定の確保に反映させることを目的とする。							
対象 ※誰・何を対象に		市が締結した契約を対象とする。							
手段 ※どのように		契約検査課職員（専任検査員）及び公共工事の実務に精通した課長補佐職（指定検査員）により検査を実施する。また、契約金額が500万円を超える工事等の検査にあっては、原則、成績の評定を行う。							
成果 ※何を求めるか		契約金額が130万円を超える工事等の検査完了後、検査の結果を契約検査課長へ報告し、検査証明書を主管課長へ交付する。また、契約金額が500万円を超える工事等にあっては、契約者へ成績評定結果を通知する。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	検査事務費	33,514
本事業の 主な業務	・ 概要書の収受							・	
	・ 指定検査員体制の運営業務							・	
	・ 検査							・	
	・ 成績評定							・	
	・ 研修							・	
	・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・ 検査・成績評定	・ 検査・成績評定	・ 検査・成績評定	・ 検査・成績評定		
事業費	予算（現額）	116,000	124,000	142,000	142,000	144,000	
	決算額	87,820	66,868	78,980	33,514	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	87,820	66,868	78,980	33,514	144,000
人件費	従事職員数（人）	2.20	1.90	1.90	1.90	1.90	
	人件費相当試算※	17,313,026	15,219,314	15,622,258	16,106,479	16,736,129	
総事業費試算		17,400,846	15,286,182	15,701,238	16,139,993	16,880,129	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	請負金額500万円を超過する工事検査数	目標値	件						
		実績値		155.00	143.00	148.00	182.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	委託金額500万円を超過する委託検査数	目標値	件						
		実績値		15.00	24.00	17.00	27.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	工事成績評定結果平均点	目標値	点						
		実績値		75.60	76.70	76.10	76.30		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査の公平性を確保、恣意性を排除するため、目標値の設定は行わない。						
	実績値の算出式								
成果指標 2	委託業務成績評定結果平均点	目標値	点						
		実績値		75.00	73.00	74.90	73.30		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査の公平性を確保、恣意性を排除するため、目標値の設定は行わない。						
	実績値の算出式								
成果指標 3	成績評定65点未満の工事件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		2.00	0.00	2.00	4.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		著しく悪いとされる65点未満の工事件数を0件とする。						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	契約額500万円超の工事検査182件、契約額500万円超の工事に係る業務委託検査27件について検査を執行した。この内22件の工事検査については、3月末(検査繁忙期)に検査体制を整え、指定検査員が執行し滞りなく事業を達成した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	工事成績評価点65点未満の工事が4件あったが、工事成績評価結果平均点は概ね平年並み。検査時及び現場確認における助言や提案の効果が一定程度得られている状況。引き続き、工事中の安全確保や工事目的物の品質確保・向上に向け、検査を通じた助言等行っていく。
			評価者 検査係長 今井 康友

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	検査の事務処理に要するシステムや検査情報を管理するシステムの保守管理は、直営で行い、特定のシステムの導入・保守管理に伴うコストを発生させることなく、効率的に運用できている。また、検査情報を管理するシステムは集計機能を活用することで、検査結果の報告等の事務を効率的に行えた。
			評価者 検査係長 今井 康友